

甲賀市少年センターだより

第2号



甲賀市水口町本丸1-20 みなくるプラザ

TEL 0748-62-6010

FAX 0748-63-3977

メール k-syonen@city.koka.lg.jp R6(2024).7発行



着任挨拶

3月21日付けで甲賀警察署長に着任しました簡居昭博と申します。

平素は、警察業務の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。



甲賀警察署
署長 簡居 昭博

とりわけ、少年の非行防止や健全育成活動、さらには子どもの安全対策に多大なるご尽力をいただいておりますことを、紙面をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。

また、関係機関・団体、ボランティアの方々など、本当に多くの皆様方が、各種活動に献身的にお取り組みいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

まず、県下の犯罪情勢についてですが、令和5年中、刑法犯の認知件数は、7,771件で前年より941件増加しました。特徴として、罪種別では窃盗犯の割合が最も多いのですが、近年は知能犯の増加が目立ち、詐欺は800件で、前年より205件増加し、その他、不同意性交や不同意わいせつといった18歳未満の少年が被害者となる事案も大幅に増加し、犯罪被害が高齢者や未成年者に及ぶ傾向が強いことが危惧されます。

また、県下の少年非行の現状ですが、令和5年中、刑法犯では581人の少年を検挙補導しており、前年より171人増加し、不良行為少年は2,222人の少年を補導しており、前年より30人増加しております。特徴として、刑法犯では窃盗(万引き)の増加、不良行為では、深夜徘徊、喫煙に次いで、正当な理由なく学校を休み、早退等をする怠学行為として補導される少年が多い状況がみられます。

一方、当署管内の少年非行状況ですが、令和5年中、検挙補導した少年の総数は125人であり、一昨年より33人減少しています。特徴として、不良行為少年で補導される少年が83人で前年より43人減少し、近年大幅に減少している傾向にあります。

近年、全国的に少年による凶悪犯罪や大麻使用などの薬物事犯、特殊詐欺の受け子や出し子などの犯行に関わる事件の発生や、SNSの利用を発端とする加害行為や被害など、現代の少年を取り巻く犯罪情勢につきましては、予断を許さない状況となっており、特に誰もがインターネットを普通に利用して

いる環境において、様々な情報に触れる機会が多く、インターネットを利用した犯罪の手も巧妙化しており、いつでも犯罪に巻き込まれる虞がある状況となっています。

警察としては、将来を担う少年の非行防止や立ち直り支援などの健全育成活動の重要性を認識しており、関係者の皆様方との連携を深めながら、少年の非行防止活動に取り組んで参りたいと考えております。

これからも、地域住民の皆様、少年の非行防止と健全育成のための様々なご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

祝

～近畿少年補導員功労者 表彰～

石川 富美代 様



多年にわたり少年非行防止活動を積極的に推進し青少年の健全育成に貢献された方および団体に近畿管区警察局長と近畿少年補導等連絡協議会会長の連名で、表彰式が、執り行われました。

甲賀市からは石川富美代様が授彰されました。おめでとうございます。今後もよりお願いいたします。

日時:5月24日(金) 於:大阪歴史博物館講堂

～甲賀市少年センター協議会～

6月24日、みなくるプラザ鹿深ホールにて、少年補導活動及び少年相談活動等を総合的かつ効果的に行い、少年非行を防止し、少年の健全な育成を図るため、センター協議会委員のご出席のもと、協議会を開催しました。



貴重なご意見をいただきましたことを今後の活動に生かし、さらに関係機関と連携を密にして、青少年の健全育成に努めてまいります。

困ったときは

ひとりで悩まないで 気軽にお電話を!

秘密厳守・無料

交友関係、生活、いじめ、家族、学業、不登校、就労など
相談日: 平日のみ(9時00分～16時00分)

年末年始、土、日、祝日は休み

TEL 0748-62-6010

Mail k-syonen@city.koka.lg.jp



7月 「青少年の非行・被害防止強調月間」



～地域で子どもをまもり、はぐくみましょう～

○インターネット・SNS等利用における子どもの非行・被害防止対策の推進

○不良行為および初発型非行防止対策の推進



少子高齢化、インターネットの利用拡大等の進展は、青少年を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしています。全国の青少年非行情勢については、令和5年の刑法犯少年の検挙人員は2年連続で増加し、人口比では20歳以上の者と比べ依然高い水準にあります。また、青少年の被害状況については、SNSを通じて面識のない被疑者と児童が知り合い性犯罪等の被害にあった事犯の被害児童数は、高い水準で推移し、特に小学生の被害が近年大幅に増加しています。また、それぞれに事情や問題を抱えた青少年が、自分の居場所を求め繁華街に集まり、犯罪被害にあうリスクについての認識が不十分なまま被害にあっています。加えて、不適切な受発信により、犯罪やトラブルに巻き込まれる機会の増加が引き続き懸念されます。

県内における令和5年度中に警察で検挙・補導された非行少年の総数は、前年対比で増加となり、非行の入口と言われている初発型非行(万引き、自転車盗等)により検挙された人員は、刑法犯少年全体の約4割を占め、特に万引きは前年に比べて大きく増加しました。

このため、滋賀県では、学校が夏季休業に入る7月を「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」とし、関係機関・団体、地域住民等が相互に協力・連携しながら、県全体が規範意識を高め、社会環境の浄化を図るための諸施策・諸活動を集中的に実施し、青少年の非行や被害の防止と保護の徹底を図ることとしています。

～危険！ SNS 位置情報共有アプリ～

若者に広がる位置情報共有アプリは、10代の7割が現在利用中で、休眠ユーザーも含めると、10代の8割以上が位置情報共有アプリを持っていることが分かりました。(ナイル株式会社によるアンケート;対象:10代男女2,176人、期間:2023年7月12日～7月18日)

友だちと居場所を共有しメッセージもやり取りでき、待ち合わせなどに便利なSNSとして若者に人気ですが、安易に人とならなければ危険に巻き込まれかねません。

名前や住所も個人情報ですが、自分の居場所も大切な個人情報です。このアプリを悪用して犯罪に悪用されることもあります。位置情報共有アプリを悪用したとみられる事件も起こっています。

元交際相手に居場所を特定され刺される

2023年1月16日午後6時頃、福岡市で、会社員の女性が刺殺される事件が発生。殺人容疑で逮捕された男性とは過去に交際しており、位置情報共有アプリを利用していたようです。

見ず知らずの人を追加してストーカー被害

10代の女性が位置情報共有アプリをインストールし、知人と同姓同名の他人を知人だと思い込み追加しました。その結果、相手からつけ回される、頻りにメッセージが届くようになるなどストーカー被害を受けるようになったようです。

SNSで知り合った人に自宅を特定される

2022年8月、北九州市で高校生の女子学生と母親が刺される事件が発生。容疑者の10代男性は過去に女子学生とSNS上で交流があり、位置情報共有アプリを使って自宅を特定し、犯行に及んだ疑いがあります。

適切に使えば大変便利なアプリですが、位置情報と滞在時間が分かるということとはどこで何をしているか共有している相手に全部筒抜けになるということです。今まで仲がよかった人でも、人間関係にトラブルが起こり、何らかの悪意を持たれたときは、その人が情報を悪用する危険性があります。ストーカー被害や人間関係のトラブルになることもあり大変な危険を伴います。

位置情報の利便性を受けながら、プライバシー侵害のリスクを軽減するためには、次の項目を確認することが大切だといわれています。

1. アプリをインストールする前に機能の確認をする
(機能が多いほど危険性が高い)
2. 公開範囲を制限する(SNS等に自身のIDを公開したり、自分や相手の位置情報をスクリーンショットで撮影しSNS等に投稿したりすることは絶対にしない)
3. 現在地は常にオンにしない(ほかにも、TwitterやInstagramなどのSNSで投稿時に現在地をオンにしたままにしていると、本来共有したくないプライバシー情報がインターネット上に公開される危険性がある。悪質なストーカー被害にも繋がることもあるため注意が必要)
4. 定期的なアプリの利用状況を確認する。



R6 少年センター相談受理状況

R6年4月～R6年6月末合計延べ286件(R5年6月末まで371件)
面談等81(100) 電話152(257) メール53(14)

	内 容	R 6 6 月 末	R 5 6 月 末	内 容	R 6 6 月 末	R 5 6 月 末
非 行 相 談	盗癖・窃盗	8	12	暴力行為	7	26
	校内暴力	5	13	家庭内暴力	16	8
	たかり・恐喝	0	2	薬物乱用	0	7
	飲酒	0	0	喫煙	2	0
	家出	3	0	無断外泊	0	7
	深夜徘徊	0	0	金銭乱用	14	3
	道路法違反	0	2	怠学	1	0
非 行 相 談 以 外	不登校	36	63	学校・学業	7	13
	就職・仕事	0	19	家庭	12	6
	しつけ生活	148	156	交友	12	4
	性	2	3	発達障害	0	0
	心の病	2	0	健康・身体	0	0
	いじめ	7	21	虐待	4	3
	有害環境	0	0	その他	0	3

○相談者内訳

本人	45	60	家庭	113	79
学校	72	103	職場	0	5
関係機関	50	120	その他	6	4

○相談対象少年内訳

小学生以下	17	37	中学生	139	107
高校生	15	63	学生その他	60	26
有職少年	33	87	無職少年	22	51

学校訪問始まる

6月末から順次甲賀市内の小学校21校、中学校7校、高等学校等6校、児童福祉施設2園、そして市外の高等学校等8校を訪問させていただきます。子どもたちの課題解決や健全な成長に向けて、連携していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。